

令和2年6月25日

令和2年第2回神奈川県議会定例会

# 総務政策常任委員会報告資料

政策局・総務局

## 目 次

	ページ
1 「かながわグランドデザイン 評価報告書2019」について……………	1
2 「第2期 行政改革大綱 令和元年度点検報告書（案）」について……………	3

参考資料1 かながわグランドデザイン評価報告書2019

参考資料2 第2期 行政改革大綱 令和元年度点検報告書（案）

# 1 「かながわグランドデザイン 評価報告書2019」について

## (1) 趣旨

令和元年7月に策定した「かながわグランドデザイン 第3期実施計画」に係る取組状況について政策評価を行い、政策運営の改善に資するとともに、その評価結果について県民との情報共有を図るため、「かながわグランドデザイン 評価報告書2019」を作成する。

## (2) 経過

- ・ 令和元年11月開催の総合計画審議会にて「かながわグランドデザイン」の進行管理のあり方について審議
- ・ 令和2年2月、「評価報告書2019」作成方針の策定
- ・ 令和2年4月、新型コロナウイルス感染症拡大を踏まえた対策に全庁で注力するため、評価報告書の作成業務を見直し
- ・ 県の事業部局の報告を基に取りまとめた内容について、総合計画審議会（令和2年6月書面開催）において、「評価報告書2019」として了承

## (3) 内容

- ・ 県の重点施策を分野横断的にまとめた23のプロジェクトについて、県の事業部局によりK P Iの進捗状況の確認を行った。

### 【K P Iの進捗状況】

K P Iの進捗状況	該当K P I数
K P Iの進捗率が100%以上	84
K P Iの進捗率が100%未満	48
令和2年5月末までに未把握	19
合計	151

- ・ 総合計画審議会から、進捗状況等に対する評価やプロジェクトを推進する上での課題等の意見を聴取した。

### 【主な意見】

〈プロジェクト1「未病」〉

新型コロナウイルス感染症対応で、外出自粛により活動が低下した高齢者の身体機能の回復が今後の課題になる。

〈プロジェクト7「観光」〉

各KPIは順調に進捗しているが、新型コロナウイルス感染症の影響で大きく冷え込むことが予想されるため、今後はその対策に取り組む必要がある。

〈プロジェクト10「治安」〉

KPI「地域住民と連携した地域安全活動等の実施回数」及び「サイバー犯罪の被害防止に向けた広報啓発活動」は、量もさることながら、活動内容の質を高める必要がある。

〈プロジェクト17「雇用」〉

今後、新型コロナウイルス感染症の影響による雇用状況の悪化が予想されるため、更なる就業支援の充実を図っていく必要がある。

〈プロジェクト18「地域活性化」〉

地域外から人を呼び込むため、地域外での広報的活動やイメージ向上戦略を展開する必要がある。

#### (4) 公表

- ・ 令和2年7月10日から評価報告書の内容を公表、翌11日から県民の意見を募集し、寄せられた意見等を計画推進の参考にする。
- ・ 評価報告書は、県のホームページで公表するとともに、県政情報センターや地域県政情報コーナーで閲覧できるようにする。

## 2 「第2期 行政改革大綱 令和元年度点検報告書（案）」について

### (1) 趣旨

職員・組織・仕事の質を向上させ、行政組織の総合力を高める「質的向上」に着目した改革を推進するため、県は、令和元年7月に「第2期行政改革大綱」を策定した。

本大綱を着実に推進するため、令和元年度の取組状況を取りまとめ、点検報告書（案）を作成する。

※ 現在、「新型コロナウイルス感染症の拡大防止に向けた県の基本方針」に基づき、全庁を挙げた対策を実施しているため、記載内容や手続きを省略するなど、業務の見直しを図った上で作成した。

### (2) 点検報告書（案）の概要＜「参考資料2」参照＞

#### ア 令和元年度の取組

大綱では、5つの取組分野の下、各分野別に具体的な取組方策を整理しており、大綱を実現するために位置づけた各取組を推進した。

#### イ 各取組分野の取組状況

##### (7) 働き方改革

職員のワーク・ライフ・バランスを実現し、職員一人ひとりがいきいきと働き、笑いがあふれるような職場環境をつくるため、次のような取組を推進した。

（主な取組）

- ・ 長時間労働の是正
- ・ 業務改善の推進
- ・ 職場環境の整備

##### (4) 組織・人事改革

社会環境の変化等に迅速かつ柔軟に対応していくため、持続可能な組織・執行体制の構築に向けた取組を推進した。

（主な取組）

- ・ 簡素で効率的な組織・執行体制の構築
- ・ 優秀な職員の採用
- ・ 心身の未病改善の習慣化
- ・ 内部統制体制の整備・運用

## (ウ) 財政改革

厳しい財政状況が続くと想定される中、政策課題に着実に対応していくため、中長期的な視点から、持続可能な財政基盤の確立に向けた取組を推進した。

(主な取組)

- ・ 新たな中期財政見通しの作成・公表
- ・ 県債管理目標の達成に向けた県債の発行抑制
- ・ 県税収入の確保
- ・ 公共施設の計画的な管理・利用

## (イ) ICT利活用改革

限られた予算・人材を有効に活用し、質の高い県民サービスを提供するため、新たなICTを積極的に活用するとともに、多様なデータの利活用を支える環境の整備に向けた取組を推進した。

(主な取組)

- ・ 行政事務の更なる電子化の推進
- ・ クラウド適用の原則化
- ・ ICTガバナンスの強化
- ・ 情報化人材の確保

## (オ) 情報発信改革

開かれた県政づくりのため、県政への県民の信頼を確保し、理解と参加を促進する視点から、県民との対話による取組を推進した。

(主な取組)

- ・ 緊急・災害時における情報発信の強化
- ・ 全庁的な視点による情報発信のための体制整備と制度運用
- ・ 会計情報・県民利用施設の「見える化」
- ・ 県民参加の推進

## ウ 今後の予定

令和2年7月 「点検報告書」を県のホームページに掲載するほか、県政情報センターや地域県政情報コーナーで公表